

# 入院するときはご自宅で飲んでいる薬をお持ち下さい

入院される患者さんの多くは、薬を飲んでいますが、なかには当院で処方された薬以外に、別の診療所や病院で処方された薬を服用している方もいます。

これまでは、患者さんが入院した場合に、こうした薬を病院に在庫してある薬から適当なものを医師が処方して対応していました。

しかし、医療費の高騰を抑えるため、また、日ごろ飲み慣れている薬を継続して頂くため、ご自宅で飲んでいる薬を病院に持参して頂き（患者持参薬と呼びます）、これを安全・有効に使用することが求められています。



## 患者持参薬に対する薬剤師の取り組み

患者さんが入院するときに病院に持参される薬は、多種多様です。当院で採用していない薬や処方せんのいない市販薬、サプリメントなどがあります。薬剤師は、こうした持参薬が何の薬であるかを調べ、服用の有無・方法の確認を行い、入院してから安全に服用して頂くことができるよう、医師・看護師に報告します。



## どのようにやっているの？

薬剤師は、以下の二つの方法で患者持参薬の有効・安全使用に貢献しています。

- \* **外科・泌尿器科・耳鼻咽喉科へ入院される方**：薬局の《薬お渡し口》で入院前に患者持参薬をお預かりして、内容や服用方法を確認し、報告書を作成し、入院される病棟に薬剤師が持っていきます。その際に、患者さんに直接「服用を調節していたり、中止している薬はないか」「他に飲んでいる薬はないか」「薬を飲み始めてから気になる症状はないか」などのインタビューも行います。また、薬同士の相性、同じ効果の薬を複数飲んでいないか等の調査を実施します。
- \* **それ以外の診療科へ入院される方**：患者さんが入院してきたときに、病棟で病棟常駐薬剤師が同様の調査をして、報告書を作成し、医師・看護師に伝えます。インタビューは、ベッドサイドで病棟常駐薬剤師が行います。



## 入院前と同じように安全に薬を使用して頂くために

このように、当院では、入院中も患者持参薬を安全に使用して頂けるように、薬剤師が積極的に取り組んでいます。薬剤師は毎日病棟に伺っていますので、ご不明な点がございましたら何なりとお尋ね下さい。

♪ お問い合わせ先 薬剤科 ♪

♪ ご希望の方には『多摩南ミ二通信』を面会受付でお渡ししております。 ♪